

2013 年 4 月吉日

報道関係者各位

虎屋文庫機関誌『和菓子』20 号発行

2013 年 3 月発行(年 1 回発行)

B5 版／112 頁／900 円(税込) 送料一冊 80 円

虎屋文庫は、和菓子をテーマとした展示、講演会の開催ほか、和菓子関連資料の収集、機関誌の発行などの活動を行なっております。この度、機関誌『和菓子』第 20 号を発行いたしましたので、見本誌をお送りするとともに、概要をお知らせ申し上げます。

機関誌『和菓子』とは

菓子や菓子に関連する事柄についての論文や史料翻刻を中心とした学術雑誌で、1 年に 1 回、発行しております。毎回「菓子道具」「江戸と菓子」「甘味料をめぐって」など、菓子に関わる特集を設けています。

第 20 号の特集 — 羊羹

代表的な和菓子の一つでありながら、その歴史や発展の過程に謎の多い「羊羹」。中国の羊のスープをルーツとする歴史の流れをふまえつつ、地域の歴史に根ざした羊羹の姿、煉羊羹の原材料である「寒天」の発見から料理への展開の様子、羊羹が中国の「羊肝餅」に起源を持つという説を検討した論考のほか、羊羹に関するコラム等を掲載。

執筆者紹介

○九州における羊羹の歴史と展望

村岡安廣(村岡総本舗社長)

○寒天について一考察

大久保洋子(実践女子大学教授)

○羊肝餅と羊羹— 日中食物交流史の一コマ—

青木直己(虎屋文庫)

虎屋の御用記録の翻刻

長年にわたって御所の御用を勤めてきた虎屋には、数多くの古文書が残されています。

前回に引き続き、虎屋黒川家文書のうち元禄 7 年(1694)「諸方御用之留^{しよかたごようのとめ}」の翻刻を行ないます。

本史料は、121 丁の大部な文書で、元禄 7～13 年(1694～1700)の 7 年間の注文について、注文主、菓子名と数量、値段、用途などが記されています。今号では端午の節句の笹粽、七夕の索餅^{さくべい}など、年中行事にちなむ菓子の記録をはじめ、御能や御幸、大名の参勤交代時における菓子のほか、赤穂事件で知られる吉良上野介^{きらくうずけのすけ}が幕府の使者として京都を訪れた際に、伏見宮から「かすていら」を贈られた記録などが見られます。

購入方法

●電話・FAX・E-mail にてご注文ください。書店には流通しておりません。郵送にて販売致します。

(20号 900円 送料/1冊80円)

●虎屋文庫資料展開催中には、虎屋ギャラリー受付にても販売いたします。

次回開催 秋を予定 贈り物と菓子展(仮)

バックナンバーも販売中 <価格 6号800円、19号1,000円、他は900円>

- 5号特集 和菓子原材料の現在
- 6号特集 茶の湯と和菓子
- 7号特集 歴史資料と和菓子
- 8号特集 外来食文化と和菓子
- 9号特集 九州
- 10号特集 民俗と菓子
- 11号特集 菓子とまじない、占い
- 12号特集 唐菓子
- 13号特集 笑いの世界と和菓子
- 14号特集 鎖国時代の異国人への饗応菓子
- 15号特集 菓子道具
- 16号特集 武家社会と菓子
- 17号特集 江戸と菓子
- 18号特集 甘味料をめぐって
- 19号特集 菓子史料コレクションから見えるもの

*創刊号～4号は完売しました。

購読お申し込み・お問い合わせ先

〒107-8401 東京都港区赤坂 4-9-22
株式会社 虎屋 虎屋文庫
TEL 03-3408-2402 FAX 03-3408-4561
E-mail bunko@toraya-group.co.jp